

# 栃木県鉱工業指数について

## 1 目的

栃木県内の鉱工業の生産、出荷及び在庫の動態を明らかにし、その生産活動の推移をひとつの指標として観察する目的で毎月作成しています。

結果については栃木県景気動向指数を始めとして、県内の生産活動や景気の動向を把握する重要な経済指標として、行政、産業界などで広く利用されています。

## 2 基準時及びウェイト算定年次

県は、指数、ウェイトとも平成 27(2015)年を基準(平成 31(2019)年1月報から、基準時を従来の平成 22(2010)年から平成 27(2015)年に改定)としており、指数は基準時を「100.0」とする比率の形で表示しています。

なお、5年ごとに改定を行います。

## 3 分類

日本標準産業分類の中分類に準拠した「業種分類」と、品目の経済的用途に着目した「特殊分類」の2つの分類を設けています。

## 4 採用品目

生産指数            171 品目  、 出荷指数            170 品目  
在庫指数            89 品目  、 在庫率指数        89 品目

## 5 算式及びウェイト

基準年次の固定ウェイトで加重平均するラスパイレス算式です。

### (1) 算式

$$\text{総合指数} = \frac{\left( \frac{\text{比較時数量}}{\text{基準時数量}} \times \text{基準時ウェイト} \right) \text{の総和}}{\text{基準時ウェイトの総和}} \times 100$$

### (2) ウェイト

ウェイトの表示は、業種別、品目別の合計が総合において「10,000.0」になる単式形式です。

ウェイトの算出は、「平成 28 年経済センサス-活動調査」、「経済産業省生産動態統計調査」等から、生産指数は付加価値額、出荷指数は出荷額、在庫指数は在庫額を算出し、非採用分を採用分に按分加算した「膨らましウェイト」によります。

## 6 季節調整

原指数には、通常1か年を周期とする季節変動が含まれているので、この変動を原指数から取り除くため、季節調整を行っています。

季節調整法は X-12-ARIMA を採用し、X-12-ARIMA では、季節要因に加え、曜日・祝祭日要因についても調整しています。季節調整済指数は以下のように算出されます。

$$\text{季節調整済指数} = \text{原指数} \div (\text{季節指数} \times \text{曜日・祝祭日指数})$$

また、平成 27(2015)年基準改定において、異常値処理を行った種別、年月は次のとおりです。

系列名称	異常値種別	処理年月
生産	TC (一時的変化)	平成 23(2011)年 3月
出荷	TC (一時的変化)	平成 22(2010)年 10月
	TC (一時的変化)	平成 23(2011)年 3月
在庫	TC (一時的変化)	平成 25(2013)年 5月
	AO (加法的外れ値)	平成 26(2014)年 1月
	AO (加法的外れ値)	平成 26(2014)年 8月
在庫率	AO (加法的外れ値)	平成 22(2010)年 10月
	TC (一時的変化)	平成 25(2013)年 5月